

発言通告書（総括表）

令和7年第3回定例会 一般質問

No.	発 言 者	発 言 事 項	発 言 要 旨	答弁を 求める者
1	田中議員 (国 民)	災害級の暑さに対する緩和策 と適応策について 区内のイベント等における猛 暑対策について 宅配ボックス設置導入支援に ついて	異例ではなく前提となった長く続く猛暑へのヒートアイランド対策、熱中症予防対策等適 応策の徹底について本区の基本的な考え方を伺う 猛暑日・酷暑日における命を守る対応策について本区の見解を伺う 宅配での再配達による環境負荷軽減につながるより効率的な物流のための宅配ボックスの 導入支援策について本区の見解を伺う	関 係 理 事 者
2	小林議員 (自民党)	1. 「千代田区に住めば健康寿 命が延びる」まちの実現 に向けて 2. 千代田区における ドローン活用の可能性と 防災・生活支援への展開 について	1. 区の現状認識について 孤立や不安の現状を区としてどう把握しているか 2. 健康寿命延伸支援の必要性について 制度の限界を踏まえ日常生活支援の位置づけを問う。 3. 日常生活支援の3視点について 生活リズムやつながりを守る支援の具体策の確認 4. デジタル活用の在り方について 区民の安心を支えるデジタル施策の活用方針は 5. モデル事業・実証の取組みについて 効果検証を前提とした小規模実証やモデル事業の在り方について 1. ドローン活用の現状と法的枠組みの確認 千代田区においてドローンを運用する際の現状認識と規制上の課題を確認する 2. 他自治体における防災活用事例等の確認 港区など近隣自治体の事例を参考にし、千代田区での展開可能性を探る 3. 千代田区における防災・災害対応での活用可能性 高層建物や道路寸断地域に対応する災害対策としての具体的活用を問う 4. 平時の生活支援・買い物困難者対策への応用 災害時に限らず、平時の区民生活に寄与できるかを検討する 5. 研究・実証事業と人材育成・体制整備 導入に向けた基盤整備や区の方針を確認する	区 長 関 係 理 事 者

発言通告書（総括表）

令和7年第3回定例会 一般質問

No.	発 言 者	発 言 事 項	発 言 要 旨	答弁を 求める者
3	永田議員 (自 民)	外国人対策について 九段坂周辺整備について	日本各地で外国人住民急増による影響が問題になっている。本区では中国人住民が増加しており、マンション価格の高騰、公立学校の受け入れ態勢の懸念がある。 埼玉県川口市ではクルド人と地域住民の対立が深刻化しており解決の目途が立っていない。入管法等、国の法制度に起因すること多いが、本区も他人事ではない。自治体として対策が必要ではないか。 九段坂周辺の道路、歩道の通行環境には課題の指摘があるものの靖国通りは都道のため地域の改善要望の反映は難しかった。特に日本武道館でのイベント前後の混雑緩和は長年問題となっても解決されていない。現在、九段一丁目地区再開発事業が進み始めているが、合わせて対策を実行すべきではないか。	関 係 理 事 者
4	白川議員 (自 民)	1. 不動産協会への要請の意図について 2. マンションへの過剰投資による弊害について 3. 反響について 4. 法的・政策的正当性について 5. 外国人問題について 6. 適用範囲について	(1)区は不動産協会に対して、なぜ5年間の転売や複数物件購入などの禁止特約導入を要請したのか。 (2)現在の千代田区における新築マンション販売の状況を、区はどのように認識しているか。実需・投機の比率、複数戸購入の傾向、空き住戸の割合等について、把握している範囲で具体的に。 (3)・不動産協会への要請後、協会側からどのようなアクション、意見表明、照会があったか。今後の協議計画があれば明らかにしてほしい。 ・区民やマスコミからどのような問い合わせや意見が寄せられているか。また、それらの反応に対して、補足すべき情報があるか。 (4)法的・政策的正当性を認識しているか。目的の明確性、手段の必要最小限性、透明性・予見可能性の確保などの観点をふまえて、見解を示して欲しい。 (5)本件に、いわゆる「外国人問題」の要素があるか。もしあるとすれば、区はどのように対処しようとしているか。 (6)再開発・整備地区以外のマンションにも、将来的に同様の特約を拡げていく考えはあるか。拡大の要件、評価指標、試行・検証のロードマップは？	区 長 関 係 理 事 者

発言通告書（総括表）

令和7年第3回定例会 一般質問

No.	発 言 者	発 言 事 項	発 言 要 旨	答弁を 求める者
5	えごし議員 (公 明)	がん対策の推進 「誰一人取り残されない学びの実現」について カームダウン・クールダウンスペースについて	2人に1人が生涯で一度は発症すると言われている“がん”。がん発生の要因の一つとして、生まれ持った「遺伝子の特徴」が、がんの発症しやすさと強く関わっていること(遺伝要因)がある。がんに関わる遺伝子の変化が次の世代にも伝わることもあり、“遺伝性のがん(遺伝性腫瘍)”とよばれている。 ① 遺伝性のがんについて、区はどう捉えているか。 ② 病気への正しい知識の普及・啓発について ③ 遺伝性腫瘍症候群など検査への支援など、遺伝性のがんの対策について、所見を伺う。 本区では「誰一人取り残されない学びの実現」に向けて、様々な事情により学校や教室に通うことが難しい児童・生徒への支援が進められている。今後の不登校などの対策について、区のを考えを伺う。 ① 区の不登校対策、多様な学びの場の確保（バーチャル・ラーニング・プラットフォームなど）の現状と、今後の進め方について ② 不登校などの子どもの保護者が、知りたい情報を得られる、共有できる仕組み、支援・相談体制づくり パニックや感情が高ぶった時に気持ちを鎮めるための空間。最近では交通施設、教育・福祉施設、大阪・関西万博などにも設置されている。区内公共施設や区立小・中学校へも設置を検討してはどうか。区のを考えを伺う。	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者
6	岩佐議員 (次世代)	1. 内申書について 2. アニメやゲームなどのコンテンツを区政で活かすことについて 3. 持続可能な清掃事業について	中学校における調査書(内申書)について、学校や地域間での格差が生じないよう、対策をしていくべきではないか。 サブカルチャーの拠点と呼ばれる秋葉原や世界有数の書店街を誇る神保町を有する千代田区として、アニメ等コンテンツ文化資源をもっと区政に活かしてはどうか。 夏季の猛暑が常態化している中での職員の猛暑対策、人員体制の強化、高齢者支援を含めた清掃事業のあり方について問う。	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者

発言通告書（総括表）

令和7年第3回定例会 一般質問

No.	発 言 者	発 言 事 項	発 言 要 旨	答弁を 求める者
7	おのでら議員 (次世代)	ふるさと納税について 猛暑対策および風ぐるま事業について	総務省による制度改正に伴い、本年9月末をもってふるさと納税ポータルサイトによるポイント還元が終了するため、駆け込みでの寄附増加が予想される。また、近隣区では本区同様の返礼品取り扱いを開始し、獲得競争が激化している。 本区でのふるさと納税寄附額および経費低減の見込みは。また、近隣区・他自治体との競争を踏まえどのような対策を講じていくか。広報、人員拡充の必要性、返礼品の選定について伺う。 猛暑が常態化、長期化していることから、早急に新たな暑さ対策を進めていく必要がある。民地や公園だけではなく、道路上にも日よけを設置すべきでは。暑さ対策の取り組み状況、道路上に何らかを設置する場合はその優先順位について伺う。 特に地域福祉交通「風ぐるま」の停留所において屋根や日よけがないものが過半数あり、バスを待つ利用者の負担は大きい。日よけのない停留所への対策を複数部署で連携し進めるべきでは。また、運行経費の増大や運転手不足などの問題から本事業の再検討が必要と考えるが、事業継続の見通しは。停留所やバス更新への投資に影響がでるのか、見解を伺う。	区 長 関 係 理 事 者
8	牛尾議員 (共産党)	「千代田区内の投機目的でのマンション取引等に関する要請」について 猛暑から命を守る施策について 外国人住民と多文化共生について	・要請を実効性あるものにするには何が必要か区の見解を問う ・「要請」が市街地再開発等でつくられたマンションに限定している理由とともに区のまちづくりの在り方について問う ・住み続けられるまちにするための施策について問う ・エアコンの設置助成を求める ・生活が大変な世帯への熱中症対策を求める ・あらためて樹幹被覆率の目標を持つことを求める ・区の外国人住民への施策を問う	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者

発言通告書（総括表）

令和7年第3回定例会 一般質問

No.	発 言 者	発 言 事 項	発 言 要 旨	答弁を 求める者
9	桜井議員 (自 民)	1. 本区の帰宅困難者対策とその検証について 2. 特区民泊と規制の見直しについて 3. 千代田区が要請した投機目的での不動産取引等に関する事項について	○今回、帰宅困難者対策に初めての試みとして発令された区内の協力企業や学校などへの要請は何力所に対して行われたのか。またその結果、対応がなされたところは何力所あって、何人の方が一時退避をされたのか。それらの施設との連絡はどのように行われたのか。この要請に対する検証は今後に関係する大変貴重なものであると思う。その課題についてはどのように受け止めているか。 ○インバウンドの来日数は相変わらず増加しているが本区の民泊事業者数と違反件数の推移はどうか。外国人による民泊経営の実態は。特区民泊に対する本区の対応と、制度ができて9年が経つ今、現状に見合った制度の見直しを行う必要があると思うがどうか。 ○区は不動産協会に対して投機目的でのマンション取引等に関する要請を行った。販売価格は自由経済の中で需要と供給のバランスと諸条件の中で決められるもの。しかし、居住実態のない住戸が増えている中で、購入実態を調べることは大切。本区においてもどのような調査をされてきたのか。その結果はどうか。区民が安心して住み続けられるには。	区 長 関 係 理 事 者
10	のざわ議員 (維 新)	1. 千代田区で「デジタル地域通貨・地域ポイント制度」早期導入はいかが？ 2. 千代田区物価高騰対策区民の暮らし支援事業の当面、年2回実施は？ 3. 千代田区花火大会開催	(1)千代田区はDX 戦略の中で「地域のスマート化」「地域が主役となるデジタル活用」の取組を進め、地域通貨・地域ポイント制度の検討が明記されていることに鑑み、①即時性・迅速な給付②コスト削減と業務効率化③手数料削減・利便性向上④利用用途の制御・管理⑤マーケティング活用⑥災害時や有事における効率的な給付⑦観光振興・魅力あるまちづくり、の観点から、千代田区で「デジタル地域通貨・地域ポイント制度」早期導入は、いかが？ (1)今回の5000円プリペイド型ギフトカードの効果検証は？ (2)年1回給付から年2回給付への検討 (3)デジタル地域通貨での給付の検討もいかが？ (1)手持ち花火解禁の効果検証は？ (2)千代田区花火大会開催への発展的検討は？①日比谷公園等での具体的検討は？②夏だけでなく秋・冬開催等柔軟な検討は？ (3)区民参加型イベントとしての展開？①観光振興効果②地域経済効果③子育て支援・地域コミュニティ効果、からも検討は？	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者

発言通告書（総括表）

令和7年第3回定例会 一般質問

No.	発 言 者	発 言 事 項	発 言 要 旨	答弁を 求める者
10	のぞわ議員 (維 新)	4. 全世帯対象の家庭用エアコンの新規購入、法定耐用年数経過等による買い替え、修理の補助金について 5. 千代田区ドライ型ミスト実施事業について	(1)区内高齢者世帯を中心に、室内熱中症のリスクと、エアコン未設置世帯の実態について区の実態把握等の認識は？ (2)東京都の高齢者・障害者世帯向けエアコン購入補助制度との連携や、区独自の上乗せ補助の検討は？ (3) ①医療費削減、②地域福祉向上の観点からも、現行の省エネルギー改修等助成制度を拡充し、高齢者世帯はもとより、全世帯対象の室内熱中症対策を目的とした家庭用エアコン新規購入、法定耐用年数経過等による買い替え、修理の補助制度の新設はいかが？ (1)非常に好評な声が寄せられている。効果検証を十分して、その結果を踏まえて、6月からの開始と設置を千代田区中に増設は？	区 教 育 長 関 係 理 事 者
11	小枝議員 (声)	1, 個人情報保護制度のあり方 2、都市型環境政策の推進 3、公共施設解体更地化のあり方 4、待ったなしの災害対策	・区が保有する多様な個人情報を適切に管理すること「自己情報をコントロールする権利」を保障することは、区民との信頼を築く上で極めて重要。千代田区の組織・窓口や人員体制は十分とは言えず、他の自治体において対応できることが千代田区ではできないという事態が発生することが危惧される。専門的知見の担保と体制整備を求める。 ・ペロプスカイト太陽電池実証実験後の活用推進 ・学校校舎等への導入、子ども教育活用 ・地方連携、動物に優しい樹种植樹、国産木材の活用 ・大人から子供まで集い、企業との連携拠点になりうる環境センターの必要性の認識等。 ・昨今、公共施設解体後の利用方法を示さない事例が増え、区民の不安のもとになっている。お考えは。 ・「常設型危機管理センター」の設置 ・平時にできないことは、災害時なおさらできない ・防災リーダーの育成 ・避難所の環境改善、ほか	区 教 育 長 関 係 理 事 者

発言通告書（総括表）

令和7年第3回定例会 一般質問

No.	発 言 者	発 言 事 項	発 言 要 旨	答弁を 求める者
12	岩田議員 (次世代)	区が最も有効と考える酷暑対策は 生活環境条例と地域行事における臨時喫煙所について 千代田区官製談合事件について	連日気温 30 度超えの日が続くなかで区としての対策を問う。 また、この酷暑の中、学校飼育の動物達の今後は。 地域行事における臨時喫煙所について、設置許可の件数・手続き・設置根拠や区の対応等を問う。 当該事件の調査をする委員会が東京地検で供述調書を読覧した後、区として何か変わったことはあったのか。	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者